

## 令和4年度 第2回 三朝町総合教育会議 会議録

開 会 日	令和5年2月27日(月)
開 催 場 所	三朝町総合文化ホール2階 国際交流推進室
出 席 者	松浦弘幸町長、西田寛司教育長 塩谷俊樹教育委員、石田仁樹教育委員、加藤るみこ教育委員、村岡麻梨教育委員
欠 席 者	な し
説明等の出席者	赤坂副町長、青木地域振興監、大村総務課長、山中教育総務課長、山本社会教育課長、小谷課長補佐兼指導主事、福田教育総務係長
協 議 事 項	(1) ICTの活用について
報 告 事 項	(1) 部活動の地域移行について (2) いじめ問題について
そ の 他	な し

### 会 議 の 内 容

- 1 開 会  
教育総務課長  
午前8時58分  
・ 令和4年度第2回三朝町総合教育会議を開会する。
- 2 あいさつ  
町長  
・ これから少し暖かくなるということで、春の訪れを感じている。  
・ コロナが広がっていない状況であり、卒業式がいい環境の中で行えると思っている。  
・ 小学校建設現場は土手から全体が見られ、工事が思ったより進んでいる。  
・ 限られた時間の中で、会議がスムーズに進められたらと思う。  
教育長  
・ コロナは収まってきたが、まだ中部に警報が出ている状況。  
・ 小学校建設が進んでおり、その間に準備していくこととして、ICTと個別最適化の取り組みが挙げられる。「一人ひとりに合わせた」が大切。  
・ 日ごろ思っていることを出してもらい、ざっくばらんに話ができたらと思う。
- 3 会議録署名委員  
の指名  
・ 本日の会議録署名委員は、村岡委員と塩谷委員を指名する。
- 4 協議事項  
事務局  
(1) ICTの活用について  
(資料により説明)  
・ 令和2年度に児童生徒1人1台タブレット端末を整備し、効果的な活用を実現するため、町職員のGIGAスクールサポーターと外部派遣のICT支援員を学校に配置している。  
・ 家庭でのオンライン学習も容易にできるような体制ができている。

- ・ 保護者アンケート等、学習以外の活用も進んでいる。
  - ・ 令和5年度はWi-Fi環境のない家庭への支援を行うよう予算計上した。
  - ・ 令和3年度と4年度の2か年、三朝町は県教委から「ICTを活用したとっとり授業改革推進事業」のICT活用教育推進地域に指定され、校内研究を推進してきた。
  - ・ タブレットをただ使うだけが目的ではなく、これまでの教育実践にICTを組み合わせて最大限活用することで、個別最適化された学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげ、多様な学びを提供することを目指している。
- 町長
- 教育委員
- ・ ICTの活用について、教育委員さんのご意見はどうか。
  - ・ 三朝町のICTの活用については非常に意識が高く、進んでいるという意識でいる。
  - ・ ただ、このまま進んでいくと、先生方のレベルがまちまちになってくる可能性がある。進んでいけば進んでいくほど差がついてくる可能性があるもので、一定レベルにしていく必要がある。
  - ・ 家庭でも、教育以外のことに使わないなど、インターネットの怖さも何度も教えていかないといけない。
- 町長
- 事務局
- ・ 教育委員会の対応についてはどうか。
  - ・ 教員スキルに2極化傾向が出てきている。
  - ・ 新たに本町へ赴任した教員や活用が進んでいない教員への研修を町でしてほしいという提案も出ている。
  - ・ 家庭での適切な利用について、特に中学校で課題が大きくなっているほか、夜中に利用する生徒もあり、年間指導計画の中で指導していかなければならないと認識している。
- 教育委員
- ・ 学校に配置している専門員を指導してもらって、教育に生かすということができているのか。
- 事務局
- ・ ICT支援員は、端末のトラブル処理、アカウント設定、アプリインストールなど、専門的な業務を行っている。
  - ・ GIGAスクールサポーターは授業支援が中心で、活用が進んでいない教員と一緒に授業へ入って支援を行っているが、半日ずつの勤務となるため、必要な時に十分な支援ができていない可能性はある。
- 教育委員
- ・ 来られた時に活用というのもあるが、メールで前もってお願いしておいたり、そのことについての回答をもらったりという方法もあるのでは。
- 事務局
- ・ それは日常的にしている。
  - ・ ICT活用で一番困るのは、ネットにつながらないとか配れないといった突発的なトラブル。
- 教育委員
- 事務局
- ・ 学校の中で工夫されることも大事かなと。
  - ・ 内部で話をしたいと思う。
- 町長
- ・ ICT活用計画が教育委員会の中にあっただと思うが、それについての今の状況とか、計画的にICTの授業がされているか、教員の育成はできているかというのはどういう状況か。

- ・ 次の段階の計画作りについてはどうか。
- 事務局
- ・ 令和2年度に教育委員会で小中学校における情報活用の指導計画を作成している。
  - ・ 令和3年度と4年度の活用を振り返って、児童生徒の活用能力が高まったのかを振り返りながら、修正を図っていくことになる。
  - ・ 先生方のスキルの2極化への対応、情報モラル教育のさらなる推進のほか、もう一つ大きな課題として、タブレットを文房具として使うというところがあり、令和5年度の柱として、取捨選択して活用していく力を身に付けるということに特に力を入れて研究を進めていきたいと考えているところ。
- 町長
- ・ ICT事業は教育委員会の中で定期的に進行状況を確認し、課題を先延ばしにしないよう、予算に結び付けてほしい。
  - ・ 協議事項の案件については、事業計画や進行管理の資料をつけるようにしてほしい。

## 5 報告事項

- 事務局
- (1) 部活動の地域移行について
- ・ 現在、中学校の部活動において、教師の負担や、少子化によるチームの編成等、持続可能性という面で厳しさを増してきている。
  - ・ 国が部活動の地域移行について当初の方針を変更したことから、県も方針を今年度中に出さないこととなった。
  - ・ 町は、県の方針を待って移行の準備を進めることとしている。
- 事務局
- (資料により説明)
- ・ 令和5年度からの3年間で改革集中期間と位置付けられていたが、このほど改革推進期間という表現に変更され、できるところから移行していくという形になった。
  - ・ 中部5市町で一体となって協議を進めており、現在アンケートを実施している。
- 町長
- ・ 中部1市4町での話が進んだ段階で協議できたらと思う。
  - ・ 部活動は学校からなくしていく方向か。
- 教育長
- ・ なぜ「集中」から「推進」という表現に変わったかというところ、学習指導要領の総則で、学校教育活動の中に部活動が入っているからで、これがなくなるとおかしいことになる。今後、学習指導要領の改訂がされるように聞いている。
  - ・ 三朝中ではこれまで部活動は強制加入だったが、令和5年度から任意加入に変わる。
- 町長
- ・ 中学校の総体はなくなるのか。
- 教育長
- ・ 今のところはなくならずに、令和5年度からは学校所属の部だけでなくクラブチームも参加できるようになる。
- 町長
- ・ そうすると、学校行事の一環ではなくなるのか。
- 教育長
- ・ なくなる可能性が高い。
  - ・ 今現在の移行の考え方は休日のみで、平日についてはもう少し先というこ

- とだが、一気にやった方が作りやすいような気がしている。
- 教育委員
- ・ 将来的に中学校の部活動はなくなると思っているが、中学校に入る子どもたちがしたいことや将来に向けた動きを誰が支援するのか。
  - ・ 中部の中で、三朝町でできるハード面、ソフト面の支援メニューを考えていく必要がある。
- 町長
- ・ スポ少との関連も含めて、ある面で生涯スポーツの部分として環境づくりをしていかないといけない。施設面、指導者面とも。
- 教育長
- ・ 小学生の土曜日の過ごし方として、土曜楽校という事業を行っており、同様の考え方で部活動の地域移行にも取り組んでいけたらいいが、それだけの人材と受け皿があるかというところが中部全体でしんどいところ。
  - ・ チームプレーという面を考えると、拠点のことがあり、いい考えが浮かんでいない。
- 教育委員
- ・ 体験格差の解消とあるが、これが本当にできるだろうかと思う。都会なら指導者の確保等できやすい面があるだろうが、地方においてできるだろうかと思う。
  - ・ 休日ならできるかもしれないが、平日は移動などを考えると難しいのではないか。
  - ・ 三朝町として、この種目なら施設、指導者ともにできるという提案をしていかないと、なかなか進まないのではないか。
- 町長
- ・ 文科省の考え方は、地方のことは考えておらず、都市部を基準にしている。
  - ・ 地域の皆さんの意見を聞きながら、環境、人材をどう使うかが課題であり、その課題の共有ができればと思う。
- 事務局
- (2) いじめ問題について  
(資料により説明)
- ・ 令和5年1月に保護者から学校への申し出により認識し、当該児童が学校にしばらく登校することができなくなったことから、学校と教委が連携して調査を行ってきた。
  - ・ 今回の案件はいじめの重大事態には該当しないが、長期間に渡り集団によるいじめが行われていたことを認識できなかったことから、必要な調査を行い、今後のいじめ対策に向けた提言をもらうため、調査委員会を設置した。
  - ・ 4名の委員を委嘱し、第1回会議を3月3日に行う予定としている。
- 町長
- ・ 今回は調査委員会を設置したという報告ということでよいか。
  - ・ 問題を次に引きずらないことが大事。
- 6 その他
- 町長
- ・ コロナが5月以降、5類相当になるということで、国際交流についても概ね環境が整ってくる。台湾は夏までに海外へ出られるようになりそうである。
- 7 閉会
- 事務局
- それでは、以上をもって令和4年度第2回三朝町総合教育会議を閉会する。

午前9時48分